

## 経営のヒント48 「大器晩成」

〜〜〜 故事寓話から学ぶ! 〜〜〜

中国の古典から、経営の本質や人間性を高めるヒントがいっぱいあります。

**「大器晩成」という言葉があります。**

老子「に、こんな話が出てきます。

**深い知識を持つ人は、道理を聞いたら、努力してそれを実行しようとするだろう**

**中くらいの知識を持つ人は、道理を聞いたら半信半疑になり 行動に移さないだろう**

**知識のない人が道理を聞いたら、大袈裟なことをいふな、と笑い飛ばすだろう**

**あまりに巨大な箱は、角というものが見えない。巨大な器は出来上がるのが遅く、巨大な音は大きすぎて聞こえず、巨大な形は巨大すぎて形が見えない。**

この中の「巨大な器は出来上がるのが遅く」とい部分、原文では「大器晩成」となっている。

さて、老子の生きた時代では、人の寿命も短くて、人生50年などといったが、現代では、50歳などはまだまだ働き盛りだ。定年も60歳から65歳に延びている。しかし、定年になったからといっても、これで人生が上がったわけではなく、第2の人生が待っていると考えたほうがいい。現役時代の実績を第二の人生の肥やしにし、大輪の花を咲かせることも可能な世の中になった。

正月のニュースでもコンビニのローソンが、55歳以上の人だけを再雇用して、新しいタイプの店づくりを考えているようです。確かに、2007年の段階の世代の大量退職時代が目の前に来ており、新しいビジネスモデルがいろいろと構築されることになるでしょうね。

昔の成人は15歳で元服ですから、現代では25歳か？ そう考えると10歳は定年延長されても不思議ではないですね。

本当は60歳からが「道」を究めるには、一番の年齢かも知れませんね。

**いかがですか？ あなたは？**

**?? 「大器晩成」今からでも遅くない!**

易経では、人生を6つの段階に置き換えております。

**第1段階 「潜龍」変化の始まり 志を描き実現の為に力を蓄える段階**

**第2段階 「見龍」目が開かれる時。人を見て学ぶ、基本、原理原則を修養する段階**

**第3段階 「君子終日乾乾す」道を反復する。日々意思を持って努力、創意工夫。時を省みる。**

**第4段階 「躍龍」自ら試みる時。兆しを見極め、時を判断して行動するスタンスを確立。**

**第5段階 「飛龍」変化を起こす。大空を飛翔する。時と兆しを察する力を保つ。**

**第6段階 「亢龍」平らかなものは必ず傾く。窮まって衰退していく段階。**

今、自分自身はどの段階なのか？

易経ではリーダー学として、自分自身を振り返るには面白いですよ。

機会があれば「易経」もご紹介させていただきます。